

2022 年度 JOC 専任コーチングディレクター等の公募

JSAF オリンピック強化委員会は、令和 4 年度（2022 年度）の JOC 専任コーチングディレクター等を募集致します。希望者は、下記要項に沿ってご応募ください。

記

1. 募集人数

JOC 専任コーチングディレクター（トップアスリート担当）：5 名程度

JOC 専任コーチングディレクター（ジュニアアスリート担当）：5 名程度

JOC 専任情報・科学スタッフ：若干名

※応募できるカテゴリーは 1 応募者につき 1 カテゴリーとする。但し、応募者との協議により、カテゴリーを変更して決定される場合がある。

2. 応募資格

- ・ セーリング競技（特にオリンピック種目）に関して豊富な経験を有し、オリンピックでの勝利を目指す理念を持つ者
- ・ JOC ナショナルコーチアカデミー（NCA）履修者または 2022 年度 NCA 受講予定者
※NCA 未履修の者は、2022 年度受講義務がある
（受講料 30 万円（自己負担）、受講日数 30 日超）
- ・ 海外遠征時のミーティング内容が理解できる程度以上の英語力を有する者
- ・ JSAF オリンピック強化委員会が定める強化選手または強化選手候補者、関係者および関連する組織との利害関係のない者
- ・ 常に公平、公正の高い意識を持ち、社会倫理上の問題なき者
- ・ 別項に記載の、JSAF オリンピック強化委員会のミッションおよび方針を理解・同意できる者
- ・ オリンピックを目指す選手に対し、年間を通じてサポートし、活動を共にできる体力、精神力を有する者
- ・ トップアスリート担当への応募者は、セーリング競技に関する指導歴を有する者

3. 委嘱期間

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日まで

※2023 年度への自動的な更新はせず、年度単位での公募・選任となる

4. 服務および謝金

① 従事日数

- ・ トップアスリート担当：平均月 20 日（年間のべ 240 日間）
- ・ ジュニアアスリート担当：平均月 8 日（年間のべ 96 日間）
- ・ 情報科学スタッフ：平均月 20 日（年間のべ 240 日間）

② 謝金

- ・トップアスリート担当：月 40～50 万円程度
 - ・ジュニアアスリート担当：月 20～25 万円程度
 - ・情報科学スタッフ：月 20～25 万円程度
- ※JSAF との協議後、JOC と委託契約。謝金は JOC からの支払いとなる。

③ 雇用および業務内容

- ・JOC と雇用契約はせず、JOC からの委託という形態である。
- ・今回募集する全てのカテゴリー共通として、トップアスリート担当：セーリング競技に関する豊富な知識と指導経験を通じて強化対象選手等に対し、強化計画の立案、合宿・遠征等への帯同を通じて技術指導等を行う。
- ・ジュニアアスリート担当：セーリング競技に関する豊富な知識と指導経験を通じて NT・強化対象選手・ユース世代の有望選手等に対し、育成・強化計画の立案、合宿・遠征等への帯同を通じて技術指導等を行う。
- ・情報科学スタッフ：アンチドーピング、インテグリティ等、JOC 等の関連団体からの情報発信、各種データ分析、遠征補助等を行う。

5. 応募期限

2022 年 1 月 31 日必着

6. 応募方法

別添の「JOC コーチ応募書」に必要事項を記入し、応募期限までに下記宛てへのメール受信を以て提出とする。

提出先：JSAF 事務局

email：jimukyoku@jsaf.or.jp

提出された書類に書かれた情報および面接時に得た個人情報に相当する情報は、本件の選考業務を除き、使用しない。

7. 選考方法

記入された応募書および個別面接（別途日程を個別連絡）のうえ、JSAF 内で協議し、JSAF から JOC に推薦する。

その後、必要により JOC による審査を経た後、正式決定・委嘱される。

8. 決定時期

2022 年 2 月に JSAF としての決定の後、2022 年 4 月 JOC より委嘱予定

9. その他

- ・ この公募は、2022 年度に JOC が上記コーチ等を従来通り募集することを前提としている。JOC による予算等の事由により、謝金の金額や人数について調整させて頂く場合がある。また、JOC が定める業務要件等に変更があった場合には、それに対応して頂くことになるので留意頂きたい。
- ・ 上記 7 項にて JOC から委嘱された者は、自動的に JSAF オリンピック強化委員会の委員も委嘱される。
- ・ 委嘱された者は、オリ強委員長と共に、年度初めに課題の設定と共有を行い、年度末には取組の評価を行う。
- ・ JSAF オリンピック強化委員会のミッションとは、「オリンピックでメダル獲得できる選手を、継続的に輩出できるしくみの構築」である。
- ・ JSAF オリンピック強化委員会の方針とは、以下である。
 - JPN の力を結集させる（キーワードは「結束」）。
 - 各クラスの活動のみでなく「セーリング」としての活動を意識する。
 - 属人的活動ではなく、組織/しくみとしての活動を意識する。

【本件問合せ先】

JSAF オリンピック強化委員長 前園 昇

Email : indogoh25242@gmail.com

以上